



新型放射線治療装置

「トモセラピー ラディザクト」の治療をはじめました。

～ コロナ禍の中 がん治療に力を入れております ～



当院では、最新の放射線治療装置「トモセラピー ラディザクト」への入れ替え工事が完了し、8月より治療を開始しております。

昨年から続くコロナ禍の受診控えで、約1割の患者さんが減少しました。県中央病院からも同様の報告があり、報道されております。新型肺炎はスピードが大事ですが《がん治療は》待ったなしです。本装置は遠くへ足を運ぶことなく、地元で治療が出来ることから、人流を抑え、患者本人のみならず、家族の感染リスクを軽減します。

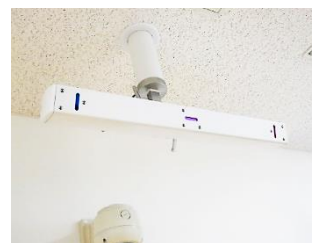
今回、「肺がん」に対して大幅に性能が向上しました。肺は、呼吸の影響を受けるので、鮮明な画像が欠かせません。^{※1}「クリア RT」技術により、病巣が明瞭になり、次世代の治療と呼ばれている、^{※2}「即時適応放射線治療」と^{※3}「追尾治療」が可能になりました。

三沢市立三沢病院と十和田市立中央病院は、共に力を合わせて市民の健康を守ります。

^{※1}「クリア RT」とは・・・これまで観察できなかった1cm未満の組織が鮮明に見えるCT技術。治療効果の向上が期待されます。

^{※2}「即時適応放射線治療」とは・・・オーダーメイド治療法の中の一つ。病巣の形状変化や動きの予測ができない症例を治療可能に。これまでは不可能とされてきた近未来技術です。

^{※3}「追尾治療」とは・・・呼吸の動きに合わせて病巣を追尾しながら狙い撃ちする技術です。



動態追尾 シンクロニーカメラ



十和田市民「安心生活活用講座」開講しています！

地域医療連携部



十和田市在宅医療・介護連携推進事業では地域（居宅）で看取れる畑（体制）作りをコンセプトに事業展開を進めています。そして市民への普及啓発の一環として「安心生活活用講座」を毎月当院エントランスホールにて開催中です。第1回目6月25日（金）はエンディングノート活用術について、第2回目7月30日（金）は人生会議と在宅医療と題して十和田市病院事業管理者の丹野弘晃先生を講師に市民講座を行ないました。来場定員は新型コロナウイルス感染対策として50人を限度として開催しました。当初は来場者オーバーによる制限も心配されましたが、十和田市居宅介護支援事業所連絡協議会（TCA）の協力によって介護事業者の方はZoom視聴で参加いただくことができました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



青森県立三本木高等学校 医療従事希望者見学会

地域医療連携部

7月28日（水）、30日（金）青森県立三本木高等学校3学年の医療従事希望者68名を対象に体験学習の受入れを行いました。実際に進路希望職種の先輩方と仕事をする事で、将来自分がなりたい職種のイメージが明確になり、受験勉強のモチベーションに繋がって欲しい、そして何よりも就学後に十和田市に戻ってくる為のきっかけを当院から提案したい、という一念で開催するに至りました。高橋院長からも「大学や専門学校で就学する関係上、一旦は地元を離れるかも知れませんが…また是非、十和田市に戻って来てご活躍い



ただきたい」と激励を述べられる一場面もありました。参加した生徒からは「貴重な体験をさせていただきました、受験勉強頑張ります」「資格を取ったら十和田に戻って来ます」などうれしい言葉を沢山いただきました。この取組みが数年後花開くことを期待します。ご協力いただきました関係部門及び所属長の方々ありがとうございました。



外来担当医表

※随時更新しておりますので、下記のURLからのご確認をお願いします。

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/old/03sinryo/03gairaiDoctorList.html>